



だいやま

ふふんふけい ふひふはつ
不憤不啓 不悻不発

【学校教育目標】
清らかに たくましく

学校だより No.19

R4.9.16 (金) 発行

明日から地区秋季大会

明日から本荘由利地区秋季大会が開催されます。コロナ禍は続いているようですが、感染対策をしっかりと行った上で開催されることになりました。

選手のみなさんにとっては、新チームになって初めての公式戦となります。勝ち負けだけでなく、どれだけ自分たちの力を出すことができたのかが、今後の成長につながると思います。

これまで練習してきた成果をしっかりと出して、全力で戦ってきてほしいと思います。

選手一人一人の活躍を全校で応援しています。
おうちの方々も、応援よろしくをお願いします。



※ 試合日程・対戦校等の詳細は、学校のホームページで、ご覧ください。

暑さ去り 心切り替え 学びの秋

9月に入っても、日中の暑さは続いているようですが、朝夕の涼しさや日暮れの早さに秋の訪れを感じます。

秋は、1年の中で最も過ごしやすい季節です。そして、読書や芸術、スポーツの秋であるとともに、学びの秋でもあります。

9月26日(月)には、期末テストが予定されています。いつも、やらなければいけないながら、なかなか手がつけられない人は、あれこれ考えずに、まずやれるところからやってみましょう。あまり欲張らずに、できない自分を責めずにやってみる事です。「やる」と決めてしまうことで、意外によく取り組める場合が、私は多いです。

来週は、祝日や振替休業等で、三連休が2回もあります。そこをあてにするのではなく、その前から助走をつけて、気持ちよく連休に入れるようにしましょう。自分の立てた計画をもとに、休みを有効活用して楽しく、そして有意義に過ごしてください。



☆ 令和4年度 青少年健全育成標語コンクール(中学校の部)
最優秀賞 東由利中学校1年 小松ひよりさん
作品 「いじめの芽 育つ前に つみとろう」

※ 最優秀賞は、地区で1名でした。素晴らしいですね。
おめでとうございます。

☆ 来週は、2つの祝日がありますが、どんな祝日なのかは知っていますね。でも、中学生であれば、さらに詳しく知って、周りの人にも伝えてあげたいものです。

敬老の日

敬老の日の由来と変遷は？

敬老の日の由来は、1947年(昭和22年)に兵庫県多可郡野間谷村(現在の多可町八千代区)で提唱された「としよりの日」だといわれています。

当時の野間谷村では、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という主旨のもと、農閑期で気候もいい9月中旬の15日を「としよりの日」と制定し、敬老会を開くようになりました。

「としよりの日」は、その後全国に広まっていき、1954年(昭和29年)には老人福祉法の制定にともなって「老人の日」と改称されました。さらに「国民の祝日法」が改正された1966年(昭和41年)には、「敬老の日」という名称で国民の祝日に制定されました。

それ以降、毎年9月15日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」として親しまれてきましたが、2001年(平成13年)の祝日法改正でハッピーマンデー制度が導入されたため、敬老の日は「9月の第3月曜日」に移行しました。

今年(2022年)は、9月19日(月)が敬老の日にあたります。

これまで地域や家庭を支え、みなさんのことを見守ってくれたおじいさんやおばあさん、地域の高齢者の方にはしっかりと感謝の気持ちを伝えるようにしましょう。



秋分の日

実は世界的に珍しい祝日？

秋分の日を祝日とする「国民の祝日に関する法律」が公布・施行されたのは、昭和23(1948)年です。今年(2022年)の秋分の日は9月23日ですが、その年の太陽が秋分点を通過する日によって毎年日付を変える特殊な祝日です。

その年のなかで昼と夜の長さがほぼ等しくなる日を、春は「春分の日」、秋は、「秋分の日」とそれぞれ定めていますが、天文学に基づき祝日を決定することは、実は世界的に珍しいのだそうです。(2012年は116年ぶりに9月22日でした。)

また、二十四節気の一つに、「秋分」という節気があります。二十四節気とは、中国から伝わった季節の節目を表す日に名称をつけたものですが、これを日本が取り入れて、私たちの生活にも根づいています(立春、夏至、冬至など)。

秋分の日には戦前、「秋季皇霊祭(しゅうきこうれいさい)」と呼ばれていました。

これは、歴代天皇ならびに皇族の霊をまつる儀式を行う日のことです。昭和23(1948)年に「祖先を敬い、亡くなった人々をしのぶ日」として、秋分の日と改名され、日本国民の生活に深く根づく祝日となりました。

一方、春分の日には「自然を称え、生物をいつくしむ」日として制定された国民の祝日。秋分の日と同じく、昭和23(1948)年を境に「春季皇霊祭(しゅんきこうれいさい)」から春分の日に改名されました。

秋分の日には、「祖先を敬い、亡くなった人々をしのぶ日」です。自分の祖先を敬い、改めて感謝の気持ちを持ちましょう。

